

多様な性のあり方に関するガイドライン

京都外国語大学
京都外国語短期大学

【基本理念】

本学は「PAX MUNDI PER LINGUAS－言語を通して世界の平和を－」を建学の精神にかかげ、性別、年齢、国籍、人種、民族、文化、宗教、障がい、性的指向など、さまざまなバックグラウンドを持つ人が世界中から集まっています。その中で、互いの違いを多様性（ダイバーシティ）として尊重しながら、多文化共生の実現に向けて貢献できる人材の養成を目指しています。

本学においては建学の精神に則り、性のあり方にかかわらず、誰もが安心して自由に教育研究に取り組むことのできる環境の整備に取り組めます。

【基本方針】

1. 一人ひとりの性のあり方を尊重します

性自認（Gender Identity）、性的指向(Sexual Orientation)、性表現(Gender Expression)、身体的性（Sex Characteristics）などのあり方は、人それぞれ異なるもので、誰にでもかかわることです。性のあり方によって、差別やハラスメントを行うことを一切禁止します。

2. 本人の意思と選択を尊重します

性のあり方を伝える（伝えたい）か、伝えない（伝えたくない）かという選択や、どのようなことを望むか、または困難に感じるかは人それぞれ異なります。

大学で過ごす中で、具体的な対応が必要になった場合は、本人の意思と選択を尊重しながら、一緒に取り組めます。

3. 個人情報の保護を徹底します

性自認や性的指向等の情報は、本人の意思に沿って慎重に取り扱います。アウトティング（本人が望まない形で他者に知らせること）の防止に努め、個人情報の保護を徹底します。

4. 多様な性のあり方に関する理解啓発に努めます

多様な性のあり方やジェンダーに関する理解促進にかかわる啓発を行い、差別・ハラスメントのない環境をつくりまします。